

第7回フローインジェクション分析技術講習会 —最先端の流れ分析技術—を受講して（1）

日本メナード化粧品株式会社 総合研究所 宮脇維章

掲題の講習会は、平成17年8月4～5日に愛知工業大学において開催されました。大学の最寄り駅は、愛・地球博の最寄り駅で、夏休み真っ只中ということもあり、平日であるにもかかわらず、多くの家族連れやカップルでごった返していました。そんな面々を横目に見ながら、汗を拭きつつ愛知工業大学へと歩を進めたことが、印象に残っています。

講習会初日の前半は講義、後半と最終日は実習で構成されており、FIAビギナーである筆者がどこまでついていけるか不安を感じながら臨んだ講習会でした。実際の講義内容は、FIAの原理、基礎技術から最先端技術まで、非常に幅広い内容にわたって説明して頂き、講義を担当された先生方のお話の内容は、初級レベルの目線に合わせたもので、筆者のようなビギナーであっても大変わかりやすい講義でした。

実習は、これまでに聞きかじっていた色々な分析方法を、実際に自分の目で見て、手にふれることができ、机上で理解していた内容をより深めることができました。「習うより慣れろ」という言葉通り、大きな収穫となりました。筆者個人的ではありますが、一番興味を持った実習は、「大気、室内環境中のホルムアルデヒド分析」でした。ディスプレイによる抽出方法を採用したことで、FIAへ簡単に応用でき、その装置構成も2流路の単純なものであったので大変驚きました。また、応用範囲の広さや簡便性がFIAの大きな魅力の一つであることを改めて実感しました。

実習終了後に行われた懇親会や実習時間中の合間に、重鎮の先生方をはじめ、実習を手伝って頂いた学生の皆様方や、ともに受講されていた方々と気楽にお話できたことも今回の講習会での大きな収穫となりました。特に愛知工業大学の酒井先生に、FIAで新しい分析メソッドを作成するとき、どのようなことを確認する必要があるかをお伺いしたとき、懇切丁寧に説明頂けただけでなく、文献まで紹介して頂き、大変嬉しく思いました。今後、弊社の業務にFIAを取り入れていく際の参考になりました。また何より、今年10月に開催されます第46回フローインジェクション分析講演会で、身の程をわきまえずに発表してみようと考えている筆者にとっては大変貴重なお話を伺うことができました。



写真1 初日前半の講義風景



写真2 実習風景：「大気、室内環境中のホルムアルデヒド分析」

この会誌をご覧になっている方々の中にも、筆者のようなFIAビギナーの方もおられるのではないかと思います。そうしたビギナーでも気楽に受講でき、質問があれば、個別にいくらかでも話に付き合ってもらえるのが、この講習会の特徴と言えます。ビギナーでも臆せず受講すれば、得るものは必ずあると思います。

最後になりましたが、今回の講習会開催にあたって、ご尽力頂いた愛知工業大学の手嶋先生と、夏休み中であるにもかかわらず、開催日前からテキストや会場設営準備に始まり、実習のお手伝い、さらには懇親会でほろ酔い気分の筆者らを最寄り駅まで送り届けるために、お酒を我慢していた学生の皆様方に感謝申し上げます。